令和7年度みえグリーンボンド(法人向け・60億円)



- 令和7年10月、5回目となる法人向け「みえグリーンボンド」(総額80億円(5年債44億円、10年債16億円、10年債(水害レジリエンス枠)20億円)を発行。
- 金利上昇を背景とした投資家の年限短期化ニーズを考慮し、新たにみえグリーンボンドとして初となる5年満期一括債を発行。三 重県を応援したい投資家からのニーズをしっかりと集め令和6年度発行総額対比増額。(令和6年度法人向け発行額77億円)
- 県内外投資家からの幅広い参加により、新規先30件を含む87件の投資表明を獲得し、本県の投資家基盤を拡充。

令和7年10月28日 発行日 (条件決定日は令和7年10月17日) 年限 5年満期一括債 10年満期一括債 発行額 44億円 16億円 利率 1.281% 1.744% 応募額 61.5億円 応募額 17.1億円 販売状況 応募倍率 1.4倍 応募倍率 1.1倍 投資表明件数 68件 投資表明件数 19件 主幹事 野村證券(事務)、岡三証券、ゴールドマン・サックス証券 株式会社日本格付研究所(JCR)より、国際資本市場 協会 (ICMA) によるグリーンボンド原則2021及び環境省 外部評価 グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、 Green1(F)(最上位評価)を取得

【投資表明投資家※の内訳】

【主な資金充当事業】

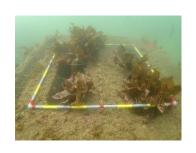


信号機等の新設・改良 (LED化等)

※投資表明投資家…法人向けにおいて投資を表明頂いている投資家。



治山対策



藻場造成

令和7年度みえグリーンボンド(法人向け·20億円) (水害レジリエンス枠)



- 総額80億円のうち10年債20億円を、水害対策に使途を限定した『みえグリーンボンド(水害レジリエンス枠)』として発行し、 全額を東京海上日動火災保険株式会社が購入。
- 令和7年度に実施中の河川・ダム・港湾・海岸保全施設の強靱化事業の財源に充当
- 三重県初の防災・減災取組であり、地方債グリーンボンドより低利(△0.01%)での発行はグリーンボンドとして**全国初**の事例

発行日	令和7年10月28日 (条件決定日は令和7年10月17日)
年限	10年満期一括債
発行額	20億円
利率	1.734% (地方債グリーンボンドより1bp低利での発行)
投資家	東京海上日動火災保険株式会社
主幹事	ゴールドマン・サックス証券(事務)
外部評価	株式会社日本格付研究所(JCR)より、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版への適合性について、Green1(F)(最上位評価)を取得

レジリエンス = 強靱化 (被害の防止・極小化、復旧の早期化)

【主な資金充当事業】







防波堤のかさ上げ

- ✓ 三重県と東京海上日動火災保険株式会社は令和3年11月に「SDGsの推進に関する連携協定」を締結。
 - →三重県内のおけるSDGsの推進を図り、ひいては、地域課題 の解決と県内経済の発展を目指す。